

外来診療担当医一覧表

受付時間 8:30~11:00

救急の場合は24時間いつでも受付しております ☎(0577)32-1115

平成25年1月1日現在		月	火	水	木	金
内科	診察室32	田近 徹 (循)	横山有見子 (循)	田近 徹 (循)	小椋 康弘 (循)	横山有見子 (循)
	診察室34		河田 好弘 (呼)	横山 敏之 (呼)	横山 敏之 (呼)	河田 好弘 (呼)
	診察室42	横畑 幸司 (消)	杉山 和久 (消)	杉山 和久 (消)	横畑 幸司 (消)	
	診察室43	長瀬 裕平 (消)	長瀬 裕平 (消)	加藤幸一郎 (消)	長瀬 裕平 (消)	加藤幸一郎 (消)
	診察室44	野村 由佳 (呼)	丹羽 慶樹 (消)	野村 由佳 (呼)		丹羽 慶樹 (消)
	診察室45	神戸 栄喜 (一般)	山田 勝己 (腎)		神戸 栄喜 (一般)	山田 勝己 (腎)
(循)…循環器内科 (呼)…呼吸器内科 (消)…消化器内科 (一般)…一般内科 (腎)…腎臓内科						
予約制	神経内科(診察室47)	山田新一 (13:00~)	山田新一 (~11:00)	陸 雄一 (13:00~)	陸 雄一 (~11:00)	—
	内分泌内科(診察室33)	—	—	(第4 落合啓史)	(第2 飯田淳史)	—
	HOT外来 (在宅酸素療法)	第1・第3火曜日 13:30~15:00				
	禁煙外来	火曜日 14:00~15:30				
心療内科	2階 診察室1	安藤 寿博 15:00~17:00	安藤 寿博	安藤 寿博	安藤 寿博	安藤 寿博 15:00~17:00
小児科	診察室14	名田 匡利	名田 匡利	名田 匡利	名田 匡利	名田 匡利
	午後診	予約診 14:00~	予約診14:00~ 予防接種 15:00~16:00	予約診14:00~ 予防接種 15:00~16:00	—	予約診14:00~ 予防接種 15:00~16:00
外科	診察室51	森岡 淳	松葉 秀基	堀 明洋	森岡 淳	堀 明洋
	診察室52	諸藤 教彰	—	村木 愛	松村 卓樹	河合 清貴
	血管外科(診察室53)	—	藤田 広峰	—	—	藤田 広峰
	予約制 乳腺外来(診察室52)	金曜日 13:30~15:00				
	形成外科(診察室51)	鳥居 修平 <原則、月1回金曜日 13:30~15:00 ※診察日の確認が必要です>				
整形外科	診察室71	田口 勝啓	上田 秀樹	五藤 弘	田口 勝啓	五藤 弘
	診察室72	五藤 弘	田口 勝啓	上田 秀樹	上田 秀樹	田口 勝啓
脳神経外科	診察室62	山本 昌幸	山本 昌幸	国本 圭市	山本 昌幸	国本 圭市
皮膚科	診察室64	荒木 麻里	荒木 麻里	荒木 麻里	荒木 麻里	荒木 麻里
	午後診	15:30~16:30 学童対象	—	—	15:30~16:30 学童対象	—
泌尿器科	診察室82	山本 貴大	山本 貴大	横山 豊明	山本 貴大	山本 貴大
産婦人科	診察室77	代務医師 10:30~14:30	—	—	—	—
眼科	診察室21	小林 謙信	小林 謙信	小林 謙信	小林 謙信	小林 謙信
	診察室23	豊島 馨	豊島 馨	豊島 馨	豊島 馨	豊島 馨
耳鼻咽喉科	診察室26	—	—	—	代務医師	—

月に一度、正面受付に保険証のご提示をお願いします。

編集後記 本格的な冬になり、雪景色が当たり前ようになってきました。今年はずっとより雪が多いような気がします。足下が滑りやすくなってきましたので、外出の際は十分お気をつけ下さい。
(久美愛厚生病院 広報委員)

病院からのお知らせは、ホームページ <http://dome.ruru.ne.jp/kumiai/> でもご覧頂けます。

あなたの健康生活をやさしく応援する情報紙

お元気ですか

第 84 号
2013.1 発行
JA岐阜厚生連
久美愛厚生病院

- 年頭のご挨拶
- 視野のサイレントキラーNTG (正常眼圧緑内障)
- 医療介護センターのご案内
- 災害医療訓練を行いました
- 世界糖尿病デー
- 病院からのお知らせ



安国寺山【国府町】

年頭のご挨拶

岐阜県厚生農業協同組合連合会 経営管理委員会会長
河野 實



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会事業につきまして格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成25年の年頭にあたり、皆様に一言ご挨拶申し上げます。

我が国の社会情勢は、東日本大震災の復興も進まないなか、政府は昨年「社会保障の機能強化」と「財政の健全化」を目的として、消費税増税を含む「社会保障と税の一体改革」を行なうとしています。また、平成37年を目途とした医療提供体制のビジョンを示し、急性期をはじめとする医療機能の強化、病院・病床機能の役割分担、病診連携、医療・介護連携の強化、在宅医療の充実等に取り組むとしています。

平成24年4月の診療報酬改定は、全体ではプラス改定ではありましたが、改定内容は都会に立地する大病院に手厚く配分されており、農山間部に多く立地する厚生連病院には大変厳しいものとなっています。

このようななか、本会病院は昨年5月、久美愛厚生病院の新築移転を行い、地域住民の要望を受け、飛騨地域では初めてとなる緩和ケア病棟やPET-CT装置などを整備し、飛騨地域の快適な医療環境に少しでも貢献するものと考えております。

今後も医療を取り巻く経営環境は厳しいものがありますが、公的医療機関としての使命のもと、組合員並びに地域住民に信頼していただけるよう、地域医療機関との連携を強化するとともに、医師・看護師を含めた医療従事者の確保や施設・設備の整備を行い救急医療をはじめとした地域医療の充実に努め、より安全安心な医療体制を目指していく所存であります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心より祈念申し上げますとともに、引き続き、本会事業にご理解ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



視野のサイレントキラー

NTG

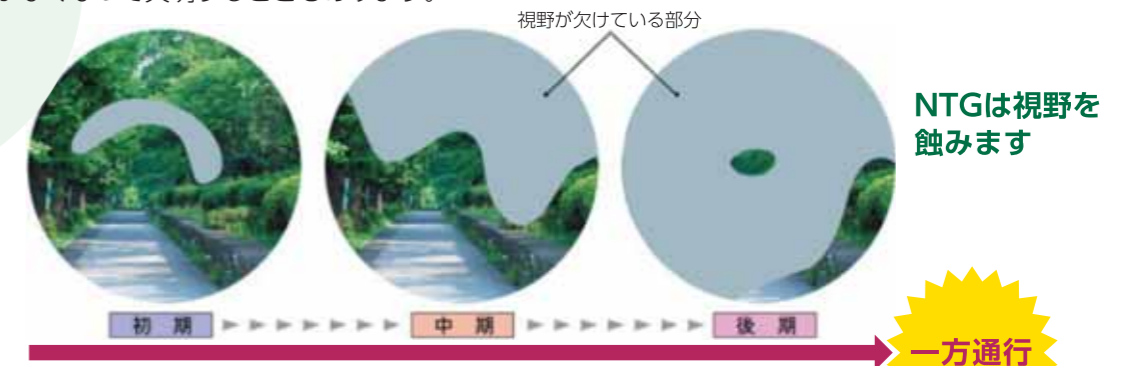


眼科 豊島 馨

正常眼圧緑内障

緑内障は日本人の失明原因の第一位という恐ろしい病気ですが、自分には関係ないと思っていらっしゃる方が多くないでしょうか。実はこの緑内障、40歳以上の20人に1人が罹患しているという、とてもありふれた病気なのです。

緑内障は眼圧によって視神経が侵されて視野が次第に欠けていき、高度の視野狭窄に陥る病気です。末期になると歩くことや自動車の運転はもちろん、屋内での生活も非常に困難になります。さらに進行すると、中心を含むすべての視野がなくなって失明することもあります。

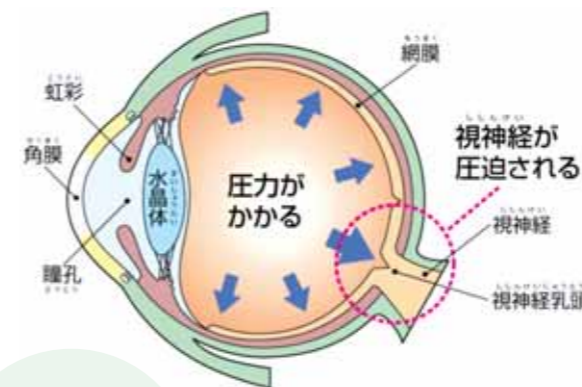
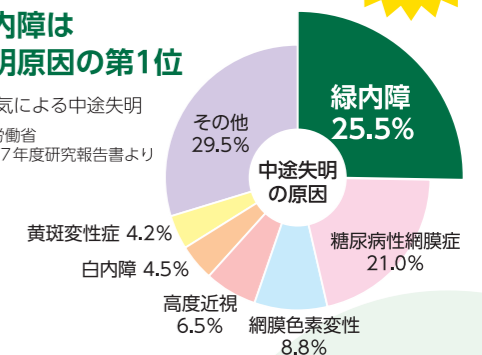


NTGは視野を
蝕みます

緑内障にはいろいろな種類がありますが、日本人の緑内障の7割は超慢性型のNTGです。進行が非常にゆっくりであることに加え、欠けた視野を両目が補い合うので、なかなか自分では気づかれませんが、そのため末期まで放置されてしまうことが多く、気付いたら視野の大半を失っていた…ということも稀ではありません。また、治療を始めても見え方が改善しないので、意欲をなくして自己中断されてしまう方も多いのが実情です。

緑内障は 失明原因の第1位

▶病気による中途失明
厚生労働省
平成17年度研究報告書より



眼圧が正常なのに視神経が侵されるNTG。その原因の多くはまだ謎に包まれており、根治治療はおろか、予防の方法すら分かっていません。しかし、早期に発見して治療(点眼薬)を始め、それを一生続ければ、進行を遅らせることも証明されています。早期発見のためには眼科を受診するのが最良ですが、集団検診で眼底写真を撮るだけでもかなり検出できます。近視のつよい方、血縁者に緑内障患者がおられる方は、NTGになりやすいので特に注意が必要です。

40歳を過ぎたら積極的に眼科検診を受け、NTGの早期発見に努めましょう。「症状がないのに眼科受診してもいいの?」と不安に思われる必要はありません。「中高年にNTGが多いと聞いたので心配になった」と言っていたら十分です。皆様の目の健康に貢献できることは、我々眼科医の大きな喜びなのですから。

医療介護センターのご案内

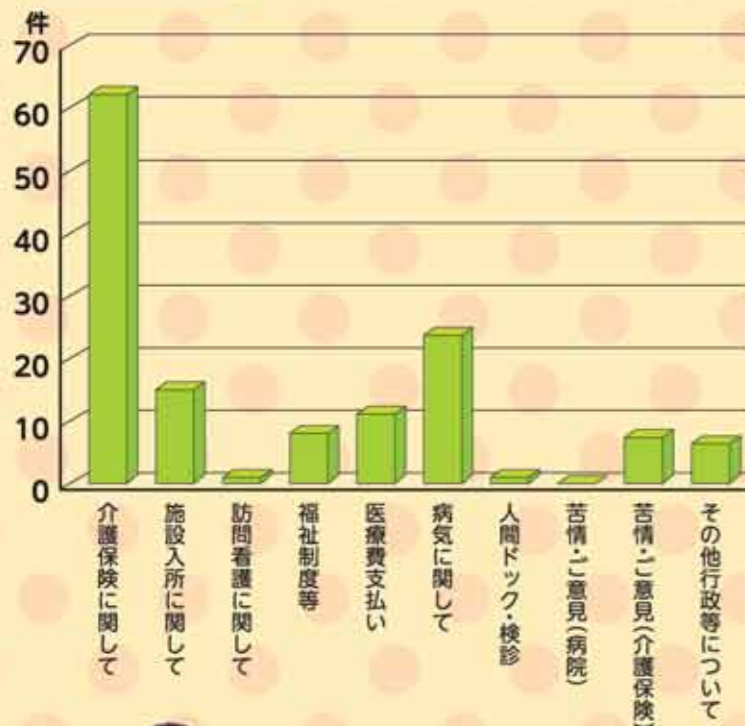
医療や福祉、介護についてお困りのことはございませんか？

医療介護センターでは、みなさまのいろいろなご相談やご意見をお伺いし、疑問や不安を解消・軽減できるよう「なんでも相談」窓口を設けています。医療や福祉・介護に関する相談窓口を一本化し、疾病予防から急性期医療、退院から在宅療養、さらには終末期医療に至るまで、ありとあらゆる場面で生ずる疑問や不安を解消できるようお手伝いをしています。



なんでも相談件数

平成24年5月～10月末



ご相談内容としては

- 介護サービスを利用したいけど、どうやって申請するの？
 - どんな介護サービスがあるの？
 - 施設に入所するためには、どんな手続きをしたらいいの？
 - 医療費の支払いについて相談したい
- などがあります。

また、平成24年5月～10月末までの相談件数は144件ありました。相談内容別では、介護保険に関するものが最も多く、次に病気に関する相談が多くありました。詳細はグラフをご覧ください。

医療や介護について、「どこに聞いたらいいか、わからない…」ということも「なんでも」お尋ね下さい。相談内容に応じて、保健師、看護師、ソーシャルワーカー等、担当スタッフが対応させていただきます。その他、医療介護センターでは、右のような様々なお手伝いもしています。



医療連携室

患者様によりよい医療サービスを提供するために、開業医や他の医療機関からのご紹介患者様の受診予約や診療に関するご案内などを行っています。



居宅介護支援(ケアプラン)

住み慣れた家で安心して暮らしていただけるよう、ケアマネジャーが介護保険に関する相談や介護サービス計画作成を利用者様のご希望に添いながら行っています。

訪問看護ステーション



看護師がご家庭に伺い、住み慣れた我が家でその人らしく安心・安全に生活できるよう支援いたします。病状観察や医療処置・医療機器の管理などの療養上のお世話を行うとともに、ご家族の相談もお受けいたします。

訪問リハビリテーション

住み慣れた自宅での生活をより良いものにし、出来る範囲で自立した生活が送れるよう専門スタッフがご家庭に訪問し、リハビリのお手伝いをしています。筋力強化などのリハビリや生活動作のチェック、住宅改修のアドバイスなどを行っています。



医療介護センターは、安心して在宅療養していただけるよう、それぞれの部門が1つとなり、さらに院内各部署と密接に連携できることを十分に活かしながら支援をします。また、地域の介護施設や行政等の関係職種との連携にも努めています。

医療や福祉、介護について、お困りなことがございましたら是非お気軽にご相談下さい。

災害医療訓練 を行いました

11月10日(土)に、災害医療訓練を実施しました。当日はほぼ全ての病院職員が意欲的に参加し、大規模地震災害が起きたという想定のもと、具体的な訓練を行いました。高山市・飛騨市の消防署や高山赤十字病院の方々、JA岐阜厚生連看護専門学校の学生さんにもご協力をいただきました。

訓練内容は、看護学生の方々が「リアルメイク」をして軽症～重症さまざまな容態の患者さん役となり、その患者さんに職員一同が対応するという形で進められました。職員は『アクションカード』に従って診察や治療、またそのサポートにあたります。『アクションカード』はそれぞれの役割を簡潔に書いたもので、全員が役割をきちんとこなすことで全体がうまく機能するよう考えられています。

役割としては、患者さんの容態を確認して緊急性に応じて搬送先を分けるトリアージ担当、トリアージされた患者さんを受け入れて治療する各ブースの担当、全体の情報を総括して管理する本部などがあります。それぞれが自分の役割をしっかりと理解して訓練に臨むことができました。



集まった職員の様子



訓練前に役割を確認する様子



搬送される患者さん



患者さんを診察しトリアージする様子



治療の様子

また、実際の災害時に使用される食品(米やお粥、味噌汁など)の調理や実食も行われました。

水だけで出来上がるインスタント白米など、最近の防災食品はとても便利になっているんですよ。



実際に非常食を使って炊き出しをする様子

今回が初めての大規模防災訓練でしたが、地域を支える病院として非常に大切な一歩を踏み出したように思います。

これからも様々な災害状況を想定した訓練を続け、万が一の時は地域の拠点病院として皆さんに頼っていただける病院となるよう、職員一同がんばります。

拡大を続ける糖尿病の脅威を踏まえ

世界 糖尿病 デー



毎年11月14日は“世界糖尿病デー”に指定されています。今年のスローガンは「糖尿病:私たちの未来を守ろう」でした。当院でも、中央待合室で糖尿病関連グッズや食品サンプルを展示し、相談コーナーを設けたイベントを行いました。



病院からの お知らせ

糖尿病教室のご案内

午前9時～午後2時半

1月11日(金)・25日(金) 2月8日(金)・22日(金) 3月8日(金)・22日(金)

●予約制です。参加を希望される方は、事前に内科外来、または栄養科へお申し込みください。